



きゅうきゅうばこ なか いやくひん
救急箱 の中には、どんな医薬品をそろえておけばいいの

かる 軽いけがは、じぶん てあ
自分で手当てする

じしん さいがい おお ふしょうしゃ で こうつう つうしん
 地震の災害で、多くの負傷者が出て、交通や通信がさまたげられて、ふだんのように
 きゅうきゅうかつどう びょういん しゅうよう びょういん
 救急活動ができず、病院などへ収容できないこともあります。また、病院では、たい
 へんいそがしくなり、けがの重い人の手当てにおわれて、けがの軽い人まで、手当てがで
 きないこともあります。

じぶん てあ かる きゅうきゅうやくひん つか おうきゅうてあ ひつよう
 自分で手当てできるような軽いけがは、救急薬品を使って、応急手当てをする必要に
 せまられます。また、おお けがをしたときでも、しょうどく ち と
 消毒や血を止めることぐらいは、しておか
 なくてはなりません。

しょうどくえき
ガーゼ、消毒液、ほうたいなど

きゅうきゅうばこ なか つぎ いやくひん やく た
 救急箱 の中には、次のような医薬品をそろえておくと、役に立ちます。

- ・ガーゼ
- ・体温計
- ・テープ
- ・消毒液
- ・救急ばんそうこう
- ・ピンセット
- ・ほうたい
- ・はさみ
- ・三角きん (監修・国司 真)

